

# MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT



No. 161E  
【発行・編集】  
MASUKI 情報デスク  
増木直美  
大阪府豊中市上新田 2-6-25-113  
TEL 090-3621-1509  
FAX 06-6835-0974  
http://mid.parfe.jp/  
mid@jewel.ocn.ne.jp

## 村田春樹VS大口明彦弁護士 今明がされる、「司法の左傾化」

12月1日(月) 15:30  
東京地裁 103号法廷  
英霊を守る裁判第2回口頭弁論報告  
出廷弁護士

徳永信一 高池勝彦 尾崎幸廣 渡邊泰範 荒木田修  
出廷補助参加人  
村田春樹 土屋敬之 山田恵久 木上和高 鈴木信行 中臺倉一 広瀬明美 福島健一 湯澤貞 林真司

うっとうしい雨だった。ところが、裁判が始まるや、明るくなった。裁判長は市毛良枝と酒井和歌子を足して2で割ったような超美人。45〜6歳くらい。いや、栗原小巻も足そう。土屋さんは目がハート、村田氏はニヤニヤ。才色兼備とはまさにこのこと。和やかな雰囲気での開始。ところが、谷口園恵裁判長実に毅然として仕切る(後述するが、後半は暴走おっさんに押され気味)。

さて、法的話は下記徳永弁護士の報告を読んでいただくとして、ポイントだけ。まず、我々が当初10名で行った第1次補助参加は11月28日に却下。却下の理由も書いてない。要は、「補助参加の認諾は荷が重すぎる。何か(理由を)書くと必ずいちゃもんをつけられる。そうなるに面倒だ。お兄ちゃん(高裁)にまかせろ。」ということだろう。もちろん我々は即時抗告(判決に対しての控訴に当たる。地裁の決定や命令に対しては抗告。要は「イヤ」ということ)。と同時に我々は1000名を2次参加。計1000名。弁論は約60分。なんだかんだと言って原告は演説を始める。どうでもいい話をたいそうに。吉本の三流芸人がマイクを放さないのと同じだ。さすが御大、高池先生、「ハカバカしくてつきあってられ

ね〜よ」と言っ顔をしてウトウト。

そして、盛り上がったのが終盤。原告の大口弁護士が、何かよくわからないが、「ゴネ始め(支援者に対するリップサービスだろう)ワイワイ言い始めた。谷口裁判官は毅然と止める。ところがこの暴走おっさん止まらない。裁判長がωωωω止めた。アカン。ついに傍聴席から村田春樹が切れた。「ゴウ!座れ」。実はこの日、村田春樹ら当事者10名は法廷内に入る予定だったが、第1被告第2被告、補助参加者の弁護士でこつた返し、入る場所がない。そこで裁判所は特別傍聴券を交付し、傍聴席の前席に座らされた。さて、話は元に戻し、そうなる大口弁護士、今度は村田に矛先を向け村田に怒鳴り始めた。私もさすが、村田に遅れること10秒、「黙れ、「ゴッ!」と怒鳴る。法廷は騒然。法廷内の弁護士と傍聴人が裁判中に怒鳴りあうというのだ。めったに見られない光景。廷吏が身構えて立ち上がる。裁判長が「傍聴人は静かに!」「今度しゃべったらつまみ出す」という目で傍聴席を睨んだ。

さて、「裁判官として人の子だ。有ってはならぬことだができればめんどくさいことからは逃げたい。結局ごね得を許す。このように司法が徐々に、徐々に左傾化していった。」と徳永弁護士は報告会で語った。

大口弁護士はまだブツブツ言っている。裁判長は無視して次回の期日を決める手続きに入り、終了。この場面を動画に取りたかった。最高に面白い。帰りにM氏より電話。原告らも裁判後集会を行い、いかにこの裁判を引っ張る



裁判後の報告会 左より、渡邊、尾崎、徳永、高池、荒木田弁護士 HPトップより「動画」を

か議論したようだ。借金返済とか家屋明け渡しの際の裁判を引っ張るのは得意なんだけど.....  
次回は3月9日午後2時。ぜひ傍聴をお願いしたい。各位、敬称略を許して頂きたい! 事務局 増木

# 「英霊を被告にして委員会」補助参加人名簿

〈H27-2-80 現在 3500 名 ; 手続き中を含む〉

《代 表》 中村重行 (京都北山の神主) 《副代表・関東担当》 村田春樹 (自治基本条例に反対する市民の会)

## 《弁護団》

〔東京〕 高池勝彦 (弁護団団長) 尾崎幸廣 内田 智 渡邊泰範 内野経一郎 荒木田修

〔大阪〕 徳永信一 (弁護団事務局) 中村正彦 岩原義則 猪野愈 (京都) 上原千可子 (福井) 浅井岩根 (名古屋)

## 《国会議員 (現・前・元)、文化人》

### 〔筆頭参加人〕 鴻池祥肇 (参)

長尾たかし (衆) 山田賢司 (衆) 大西宏幸 (衆) 東 徹 (参) 向山好一 (前衆) 三木圭恵 (前衆) 田沼隆志 (前衆)

### 〔筆頭参加人〕 津川雅彦 (俳優)

金美麗 (評論家) 竹田恒泰 (評論家) 加瀬英明 (外交評論家) 湯澤貞 (靖国神社八代宮司、靖国会総代) 津村忠臣 (関西戦中派の会) 三輪和雄 (日本世論の会) 小山和伸 (神奈川大教授) 藤岡信勝 (元東大教授) 山田恵久 (国民新聞) 松浦光修 (皇学館大教授) 小林路義 (鈴鹿国際大名誉教授) 青木英実 (中村学園大教授) 岡本幸治 (大阪国際大名誉教授) 劔南覚範 (世界連邦日本仏教徒協議会) 田母神俊雄 (第 29 代航空幕僚長) 鈴木信行 (維新政党新風) 田中節子 (前相愛短大講師) 栗原宏文 (元愛媛大教授) 久野潤 (大阪国際大講師) 森敬忠 (ソプラノ歌手) 金子宗徳 (日本国体学会) 森靖喜 (森教育学園) 西村幸祐 (評論家) 三浦小太郎 (評論家) 山内健生 (拓大客員教授) 一色正春 (元海上保安官) 富永健 (皇学館大学教授) 細谷清 (日本近現代史研究会 事務局長) 山口宗敏 (水交会常務理事・「第 2 航空戦隊 (飛龍)」司令官、多聞中將御子息) 宮嶋茂樹 (カメラマン)

## 《地方議員 (現・前・元)》

■東日本 土屋敬之 (前東京都) 松浦芳子 (東京都杉並区) 二瓶文隆 (前東京都中央区) 山本光宏 (大和市) 添田隆晴 (前伊勢田市) 小坂英二 (荒川区) 宮崎文雄 (前東京都文京区) 山本閉留巳 (前東京都港区) 鈴木正人 (埼玉県) 吉田康一郎 (元東京都) 小島健一 (神奈川県) 三木由美子 (前藤沢市) 犬伏秀一 (前大田区) 中村善吉 (前多賀城市) 臼井正一 (千葉県) 小菅基司 (秦野市) 大西宣也 (町田市) 穴倉清蔵 (千葉市) せぬま剛 (足立区) 藤沢澄雄 (北海道) 今野隆吉 (宮城県) 上橋京 (柏市) 黒川勝 (横浜市) 三井田孝欧 (柏崎市) 牧野圭佑 (愛知県江南市) 宇佐美汝久愛 (名古屋市長) 小嶋吉浩 (取手市) 鈴木松蔵 (久喜市) 相沢光哉 (宮城県) 佐々木薫 (新潟市) 伊勢田幸正 (富士見市) ■西日本 和田有一郎 (兵庫県) 辻淳子 (大阪市) 岡崎源太郎 (呉市) 神谷宗幣 (元吹田市) 水の上成彰 (堺市) 野村剛志 (大阪府豊能町) 三浦由紀 (大分市) 森脇保仁 (兵庫県) 上島一彦 (大阪府) 武智秀生 (箕面市) 本多稯 (藤井寺市) 樽本丞丈 (東大阪市) 浅田五郎 (長崎市) 稲田悦治 (岸和田市) 高山博光 (福岡市) 森多三郎 (久留米市) 仲間均 (石垣市) 岡佑樹 (徳島県) 吉村和三治 (八尾市) 波多洋治 (岡山県) 赤澤幹温 (倉敷市) 野口三孝 (長崎市) 大河内茂太 (宝塚市) 山田勝則 (元岡山県浅口市) 岡孝治 (元徳島市) 山本敬子 (宝塚市) 角田俊司 (廿日市市) 杉本延博 (御所市) 浜田茂久 (南九州市) 丸岡鉄也 (尼崎市) 柿花道明 (吹田市) 黒川治 (兵庫県) 沖田範彦 (前呉市) 石川勝 (前吹田市) 長瀬猛 (神戸市) 石橋良三 (広島県) 尾上克雅 (箕面市) 正文文男 (阿波市) 今井篤 (大阪市) 廣田和美 (大阪市) 木下一馬 (大阪市) 片山一步 (大阪市) 中村麻衣 (大阪府) 新澤良文 (奈良県高取町) 樽本尚理 (山口県) 中野郁吾 (兵庫県) 上田弘文 (川西市) 徳安淳子 (兵庫県)

## 《各団体代表・幹事、オピニオンリーダー》

森田章彦 (OAJF) 小川慎太郎 (靖国の御霊に感謝する会) 小林幸子 (二宮報徳会) 濱野晃吉 (関西防衛を支える会) 葛目浩一 (アイデンティティ) 村上学 (兵庫通信) 岡島茂雄 (神州正気の会) 木上和高 (日本世論の会神奈川) 辻井正房 (李登輝友の会大阪支部) 家村和幸 (日本兵法研究会) 中島剛 (創造文化研究所) 赤田正和 (不二歌道会) 渡邊雅春 (日本会議山口長門) 梶谷万里子 (県土・竹島を守る会) 山本和敏 (日本時事評論) 中村汰郎 (有倫館学園) 近藤直樹 (my 日本) 久保和照 (日系文化振興会) 林玲子 (日本世論の会愛知) 佐藤和夫 (英霊の名誉を守り 顕彰する会) 本里福治 (戦史資料館) 杉田謙一 (愛知の教育を考える会) 空花正人 (NPO 法人百人の会) 田中弘邦 (水交会湘南支部) 名田秀高 (京都伏見稲荷大社) 増木直美 (M 情報) 早川澄男 (新潟市自衛隊協力会) 小野博司 (日本会議高知) 竹内泰存 (雨二モマケス普及会) 鈴木京子 (正しい歴史を伝える会) 河野賢治 (日本会議大阪支部) 魚谷哲夫 (維新政党新風京都) 高橋幸一 (日本会議岡山浅口支部) 中臺倉一 (千葉市の未来をつくる会) 守口孝 (日本会議奈良大和支部) 上原正稔 (作家) 江崎孝 (狼魔人日記) 野田滋美 (日本会議神奈川相模原支部) 入野守雄 (稲毛新聞) 熊坂雄一郎 (つくる会鳥取支部) 大野木徳吉 (教育を考える石川県民の会) 渡辺元実 (藤沢市の教育を考える会) 岡崎幸平 (日本会議浅川支部) 山崎英雄 (キリストの幕屋札幌支部) 大平桂樹 (憫神路社) 木下芳太郎 (大阪府軍恩連盟) 堀川博史 (神道政治連盟京都府本部) 水野靖夫 (正しい歴史を学ぶ会) 谷辺勝啓 (大和市の教育を考える会) 清家貞文 (愛媛県神道青年会) 小川場司 (つくる会東京支部) 大槻健治 (サイパン忠魂碑顕彰会) 石黒大圃 (日の丸行進の会) 佐藤精一 (日本会議福岡県本部) 近藤建 (日本会議新潟県支部) 笠間信一 (綾瀬の子供たちを見守る会) 西脇宗克 (日本会議、世田谷・日暮) 篠田喜作 (大和クラブ) 茶橋和夫 (日本世論の会大阪支部) 寺本博 (真珠湾九軍神顕彰会を守る会) 濱野孝司 (浜田地区戦没者遺族連合会) 湯澤甲雄 (横浜の教育を考える会) 福井成樹 (弘志会) 松谷仁造 (自衛隊を応援する市民の会 ; 鳥根)

## 《弁護団》

〔東京〕 高池勝彦 《団 長》 尾崎幸廣 内田 智 渡邊泰範 内野経一郎 荒木田修

〔大阪〕 徳永信一 《事務局》 中村正彦 岩原義則 猪野愈 (京都) 上原千可子 (福井) 浅井岩根 (名古屋)

## 《国民各位》 (ご家族は世帯主と思われる方を掲載)

〔北海道〕 中塚尚 山本康弘 高橋三郎 間所裕子 砂金義人 高橋宏幸 飯島清恵 萩谷佳子 高野伸彦 大越雷太 後藤雅美 飯島清恵 佐藤清一 松岡尚徳 足立勝 水上春彦 足立高宏 保科直巳 松浦勝人 平崎爽 清水久 佐々木貴政 森田邦義 安良定雄 土田津志子 伊藤早雄 原貞子 柳沢邦彦 柳沢美奈子 山口亮 菅田寿恵男 稲富美子 武田隆良 東尾伸子 井出智 福島修子 久保早知子 吉田キョ 奥田保 天谷陽子 泉像今朝威 花井ナツエ 大道順子 三瀬啓治 藤沢昭 木村光子 中村瑠美子 東尾ツル子 奥田純男 高野美知子 奥田エリナ 森泰文 戸原高穂 鎌田由由 松谷俊 遠藤邦夫 井手恩頼 徒 田中かおり 丸谷竹次郎 山崎晋 吉野友英 奥田令仁 山本泰照 島谷内亨 山本純輝 皆川京子 石井順子 山本泰照 島谷内亨 山本純輝 川島千恵子 丸山睦雄 〔青森〕 太田徳次 加藤智良 柴田千代治 倉持昂郎 秋穂義男 天野淑夫 〔秋田〕 石井権八 藤川晃志 山谷銀次郎 〔岩手〕 熊澤淑子 鶴田仁 本郷優香 武岡明吉 〔宮城〕 高橋俊一 徳田静香 伊澤平藏 青柳宏太 千田美貴 佐藤彰信 大友良明 三澤孝子 児玉篤子 橋川真史 樋口節秀 早坂泰寛 野中登 松崎寿行 〔福島〕 吉田隆重 深谷裕樹 安藤和典 国分晴夫 久米順之 富田好弘 佐藤隆子 鈴木幸恵 芦名一彦 大森幹久 〔新潟〕 本里純子 土田イネ 神田綾子 野村和香 小川原和典 中澤沙紀 黒丸幸志 吉田貴裕 黒丸幸志 藤村久美子 船越隆司 野上里美 小林幸昌 西川千晶 伊藤佳介 伊藤佳介 山田フヲ 澤裕樹 〔山梨〕 佐川雅幸 山口鉄平 櫻本心志 櫻本心志 八巻学 小島圭貴 足立雄介 宮本根 澤田吉 山口登喜雄 〔長野〕 広瀬明美 芳賀明彦 山田篤 皆川郁治 堀江千秋 小林克己 〔富山〕 野坂嘉孝 松本雄大 成瀬眞一 山下重幸 和田学 高瀬宏司 山根謙 須田岩生 高島輝男 小林巧美 須田佳文 星野兼徳 佐藤正 村上眞裕美 富井章光 倉澤公義 倉澤公義 伊藤あゆみ 油井薫 幸田浩章 小川伸子 渡邊吉孝 松村健悟 宮下俊樹 〔栃木〕 小菅戸清文 村崎純也 寺田収宏 渡瀬祐一 峰崎 橋 大谷重雄 島袋飛鷹 中野賢一 森村子 毛塚史郎 熊倉友一 末剛和征 宮本一彦 〔茨城〕 佐藤正行 鈴木幸久 柴崎季雄 田中寿幸 中谷あゆみ 大原秀明 青木繁政 船橋 健一 柴田弥弥 鳥居徹夫 平山尚子 石川清彦 荻谷昭男 成田雄一 〔群馬〕 中沢清章 山田清彦 小林響子 金子優 米山誠司 内山路晴 櫻井和久 茂木明 古田部伸一 工藤貴弘 野中賢山 下田清美 松本均 長濱浩明 〔石川〕 藤田順明 村本嘉義 山本孝枝 金子信一 鍵庄裕介 山岸良樹 山田克彦 諸橋茂一 大野木徳吉 森下秀昭 〔埼玉〕 本庄芳樹 奥村俊仁 半本茂 桐澤美枝 原口昌人 大曲幾郎 篠原寿一 小林宏政 宮本和広 梶谷洋一 赤井洋 金子裕憲 今別府孝一 新谷和子 清水修 吉田明彦 川又勇雄 三橋雅昭 上島裕美 茂木一政 國分幸宏 小野寺哲夫 坂巻勝美 小林義明 原田健 山本智史 佐藤麻由美 小野寺哲夫 菅野志保 長澤匠 高柳直矢 渡辺かずみ 大村利絵 池田野 長野歩 池田舜 橋島弘明 遊藤美太郎 伊藤勲 持本正巳 伊藤雄介 髷見崇緒子 岩森圭子 吉田和生 赤塚高香 加藤明彦 吉川千代子 村上みゆき 富永信一 佐々木幸 寺本祐也 金子直夫 金子直夫 菅野学 菅野学 佐藤昭夫 中尾泰三 小川顕吉 〔千葉〕 近藤将亮 石毛壮夫 池田秀一 齋藤公彦 佐野弘子 平松千重 舞佳夫 黒岩幹子 齋藤光博 砂川光朗 齋藤隆俊 大塚誠 加古輝政 天羽博博 猪野和子 田久保捷三 羽生美智子 古川勝博 福田明 石垣みゆき 木原高弘 小塚隆美 伊東孝司 中臺倉一 菅原博三 遠藤雅士 和田俊輔 田中愛子 小室正明 三輪功大 松本将人 山崎透 野口朋恵 政池信也 鈴木弘一 金子一子 小松隆夫 石橋揚夫 木村武宗 浅沼信行 谷口明雄 石川隆英 井手勝美 横田典典 赤井八十二 嶋田敦子 井川和寿 狩野達司 中島章男 木村勉 口石修 角田隆夫 市川勝 林浩司 大塚徹也 佐藤武一 山瀬恵仁 市川勝 〔東京〕 細田雅之 田上恭之 石井剛 小橋智子 奥井廣隆 若崎寛也 福本美穂 山口順子 木村祥子 赤池正博 小野寺彰 広瀬昭八 森則文 神宮寺純一 足立剛 齊藤正信 原口祐子 小泉千恵子 最上義雄 松井敬明 坂本正行 奥永八重子 天川幾法 廣田重徳 相原康夫 高橋剛 高橋利夫 村井幹生 高山輝雄 堀丈夫 町田正巳 大久保保 廣田直也 岸田眞宏 白井裕一 細野久美子 金沢良史 杉山達郎 成田貴子 坂口隆治 中村真由美 片倉哲次郎 富田ひろ子 福田浩昌 横山慎一 三島秀庸 林真司 青柳雄大 藤本博 善静雄 渡邊有 三浦陽子 平野壽 有江克 須藤定男 黒瀬洋子 梶謙二 山本和幸 神宮寺純一



# 英霊を守る裁判、訴訟経過状況

H27-2-6 現在

## 【東京】

### ●第 1 次攻撃隊

(津川雅彦氏以下 15 名 [No.1~15])

H26-9-15 東京地裁に補助参加申し立て

11-25 東京地裁却下

12-3 東京高裁に即時抗告  
(1-16 抗告理由書提出)

H27-1-27 東京高裁棄却

(高裁は 10 日で理由書をきっちり読んだのか!)

2-4 最高裁に特別抗告

現在 決定待ち

### ●2 次攻撃隊

(長尾敬衆議院議員等 1065 名 [No.16~1080])

26-11-25 東京地裁に補助参加申し立て

12-26 東京地裁却下

H27-1-6 東京高裁に即時抗告

現在 決定待ち

### ◎次回公判 (第 4 回)

3 月 9 日 14:00 (13:20 頃抽選)

※裁判終了後 (14:15 頃) 裁判所裏、弁護士会館  
504 号室で報告集会を行います。

黄ジャンパーでスタッフがお待ちします。

## 【大阪】

### ●第 1 次攻撃隊

(津川雅彦氏以下 20 名 [No.1~20])

H26-10-16 津川雅彦氏ら 20 人大阪地裁に補助  
参加申し立て

12-26 大阪地裁却下

12-26 大阪高裁に即時抗告

現在 決定待ち

### ●2 次攻撃隊

(長尾敬衆議院議員等 1060 名 [No.21~1080])

H26-1-8 2 次攻撃隊大阪地裁に申し立て

現在 決定待ち

### ◎次回公判 (第 3 回)

2 月 23 日 14:30 (13:50 頃抽選)

## 【今後の予定 (東京、大阪とも)】

### ●3 次攻撃隊

(山口宗敏 [多聞中将御子息] 氏等 930 名; 210 名台  
湾より参加 [No.1081~2010])

発艦準備完了、エンジン全開 全速前進ヨーソロー!  
70 年前の轍は踏まず

### ●1 次、2 次、3 次、攻撃参加計 2010 名

### ●4 次攻撃隊 (台湾より 1500 名; 鋭意入力中)

### ●5 次攻撃隊 (募集開始; 4 月末をめどに)

このたびは、「英霊をお守りするために補助参加にご参加ください」というお願いに快くご協力いただき、まずはお礼申し上げます。右の表の通り、東京・大阪ともに体当たりし、却下されたらまた体当たり。順調に作戦は進行しております。各位の攻撃機の番号は、封筒のご氏名の後ろに記された数字です。たとえば、125 番なら、東京、大阪とも第 2 攻撃隊に編隊させていただいております。また、今回特筆すべきは、1 月の終わりに徳永弁護士が台湾の「私は日本人だ!」と訴えているグループのお招きで訪台し、今回の作戦を話、ぜひ皆様のお力を・・・と講演されました。そうすると 1 週間ほどでなんと 1700 名の方が委任状を提出されました。裁判所に提出するためには、参加人の名簿が必要ですので、今一生懸命入力しています。

1 頁に書かせていただきました、1 2 月 1 日の東京地裁の様子、それが終わってからの報告集会の様子等、詳細はエト (「英霊 被告 委員会」↓「動画」) をご覧ください。また、各、抗告理由書等は順次エトにアップしています。また相手側の書類にご興味のある方にはコピーを郵送いたします。さて、当初は参加人を 2000 名程度と考えていました。ところが上記の通り台湾より 1700 名の参加。まさかほぼ同数では本土の我々としては恰好がつかません。4 月末をめどに第 5 次募集 (目標 1000 名) を開始します。今一度お声掛けのご協力をお願いいたします。

英霊を被告にして委員会事務局  
M 情報発行責任者

増木直美

## 無双の勇「台湾軍」の再来か 台湾からも迎撃

### 訴訟費用等のカンパのお願い

このたびの、英霊の名誉を守るための訴訟参加に関し、弁護士各位におかれては手弁当、ほとんど無償に近い弁護寮でご協力をお願いしています。しかし、印紙、郵便代、交通費、事務経費等相応の費用がかかります。それらの費用をカンパで賄っております。また、莫大な量の名簿入力や書類整理にもボランティアでは限界がございます。なにとぞ、今回の作戦を最後まで継続し、成し遂げるため、資金カンパにご協力くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

※ 補助参加に参加人としてご協力いただきたい話と、カンパのお願いは全く別個の話です。もちろん「参加もする、カンパもする」は大歓迎ですが!!  
すでにご協力いただいている皆様へ。お許しの上お読み捨ててください。

【受け入れ口座】

郵便振替口座記号番号 00980-7-329878

// 講座名称 英霊を被告にして委員会

平成 27 年 2 月 2 日

英霊を被告にして委員会

代表 京都北山の神主 中村重行